

令和 6 年度 芦屋市自立支援協議会 実務者会について

1. 令和 6 年度実務者会の取組み内容

- ① 令和 3 年度スタートの新システムから 3 年経過している。現在の実務者会、専門部会のあり方について振り返り、柔軟な発想で芦屋の部会制度について再度考える。
- ② 過去の芦屋市自立支援協議会での取組みについて振り返り、評価を実施する。
- ③ 課題抽出の仕組みである“座談会”でより多くの方から意見をいただくための工夫について検討する。

2. 令和 6 年度実務者会の開催状況

	日時	場所	内容
事前 説明会	令和 6 年 5 月 23 日	木口記念会館	今年度、新たに構成員になっていただく方へ前年度の報告と今年度の取組みについて説明会を実施。
第 1 回	令和 6 年 5 月 30 日	芦屋市保健福祉センター	前年度の議論を振り返り、上記の①②③の計画について今年度の取組み方針を検討。③の座談会実施については、今年度は根本的に見直しの年とし、座談会の実施は見送ることとなった。
第 2 回	令和 6 年 6 月 25 日	芦屋市保健福祉センター	新システムになった過去の経緯を知らない新しい構成員も見直しの議論に参加できるように議論の土台を共有し、令和 3 年度に現在の仕組み(PDCA の実践)に変更した根拠について振り返った。現在変更の根拠となった課題の解消ができてきているか検証を行った。
第 3 回	令和 6 年 7 月 25 日	芦屋市保健福祉センター	第 2 回の検証結果に基づき、さらに各部会の役割やシステムを進化させるための取組みを具体化するために、構成員にプランを事前に考えていただき、会議に持ち寄ってもらった。 その各プランについて議論を行い、取りまとめて全体の意見として以下のように、今年度の取組み方針の基本案をまとめた。 1. 自立支援協議会の担い手を増やすために、自立支援協議会の役割や実績について周知する方法を検討、あるいは実践する。例えば SNS などの活用など。 2. 今までの座談会をより良いものにするために、座談会の工夫やその他の意見収集の仕組み等を用いてより多くの人からの課題抽出するため

			の方法について検討する。教育・福祉の支援者からの意見収集の仕組みを検討する。 3. 「やりっぱなし」にしないため検証を行う。そのための評価について検討する。例えばその対象と方法、時期等についてなど。
8月7日 第1回本会議にて進捗を報告			
第4回	令和6年 8月29日	芦屋市保健福祉センター	1. SNS 活用した周知などについては、既存の自立支援協議会の SNS を使い周知活動を実施する。 2. 第3回の検討結果より具体的プランについて計画策定。 3. 上記具体的な取組み案に基づき、今年のプランを組み立てる。
第5回	令和6年 9月	未定	第4回会議で決定したプランに基づき進行予定。
第6回	令和6年 10月	未定	
第7回	令和6年 11月	未定	
12月 第2回本会議にて進捗を報告			
第8回	令和6年 12月	未定	第4回会議で決定したプランに基づき進行予定。
第9回	令和7年 1月	未定	
第10回	令和7年 2月	未定	
第11回	令和7年 3月	未定	木下先生との振り返りと取組みの評価予定。
3月 第3回本会議にて報告			